

宇部工業高等専門学校	開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	リサーチワークショップ I A
------------	------	-----------------	------	-----------------

科目基礎情報				
科目番号	11027	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科	対象学年	1	
開設期	2nd-Q	週時間数	4	
教科書/教材	なし			
担当教員	藤田 活秀, 後藤 実, 篠田 豊, 徳永 敦士			

到達目標				
1. 研究の基礎となる目標設定および目標達成のためのスケジュールリングができる。 2. 研究の基礎となる知識・技術の重要性を理解できる。 3. 与えられたテーマに対する実践的行動の結果をレポートにまとめることができる。				

ループリック				
	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安 (不可)
評価項目1	専門基礎の課題解決に対して目標設定および目標達成のためのスケジュールをともに綿密に構築でき	専門基礎の課題解決に対して目標設定および目標達成のためのスケジュールを概ね構築できる。	専門基礎の課題解決に対して目標達成のためのスケジュールを構築できる。	専門基礎の課題解決に対して目標達成のためのスケジュールを構築できない。
評価項目2	専門基礎の課題解決に対する知識・技術の重要性を自ら深く理解できる。	専門基礎の課題解決に対する知識・技術の重要性を自ら概ね理解できる。	専門基礎の課題解決に対する知識・技術の重要性を理解できる。	専門基礎の課題解決に対する知識・技術の重要性を理解できない。
評価項目3	与えられた課題に対する実践的行動の結果をレポートに分かり易くまとめることができる。	与えられた課題に対する実践的行動の結果のうち、重要な箇所をレポートにまとめることができる。	与えられた課題に対する実践的行動の結果のうち、基礎的な箇所をレポートにまとめることができる。	与えられた課題に対する実践的行動の結果をレポートにまとめることができない。

学科の到達目標項目との関係				
---------------	--	--	--	--

教育方法等				
概要	第2学期開講 各専門学科において、5年生の指導・支援の下で基礎的な専門課題に対してグループで解決に向けた情報収集・分析、計画立案、実践を進め、研究課題解決を行う上で必要な素養を学ぶ。本科目では、1・2年次に学ぶ学習内容が専門領域とどのように関連し、その後の専門科目との繋がりおよび社会実装への応用を把握理解することにある。			
授業の進め方・方法	本科目は5年生のリサーチワークショップIIと全部又は一部連携しており、5年生が演習・実験の指導役を担う。本科目では知識を深めるのはもちろんだが、得た知識と1年次に学ぶ科目との関連性を見出すことが要求される。また、グループ単位で課題解決に取り組むことから、グループ学習の基本である自らの思考の言語化、他者と議論できる能力、研究課題解決に必要な計画性や複眼的視点が要求される。			
注意点	従来型の座学のように、教員から降ってくる知識を吸収するのみという受け身型の学習を想定していない。指導役の5年生と協力して課題解決を行う中で、必要な知識・技術の幅の広さを貪欲に吸収し、専門技術が社会問題の解決にどのように活かされるのかを学んで欲しい。			

授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	

授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	9週	イントロダクション 課題解決・グループワーク(1)	本講義の進め方およびゴールを把握できる。グループ単位で行われる課題に取り組み、専門学科での基礎知識を把握できる。	
	10週	課題解決・グループワーク(2)	グループ単位で行われる課題に取り組み、専門学科での基礎知識を把握できる。	
	11週	課題解決・グループワーク(3)	グループ単位で行われる課題に取り組み、専門学科での基礎知識を把握できる。	
	12週	課題解決・グループワーク(4)	グループ単位で与えられた課題に対して実践的行動ができる。	
	13週	課題解決・グループワーク(5)	グループ単位で与えられた課題に対して実践的行動ができる。	
	14週	課題解決・グループワーク(6)	グループ単位で与えられた課題に対して実践的行動ができる。	
	15週	課題解決・グループワーク(7)	実践的行動の結果をレポートにまとめることができる。	
	16週	まとめ	本講義で学んだ内容を整理するとともに、課題解決を行うため必要な素養や視野の広さを理解できる。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
-----------------------	--	--	--	--

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合						
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	10	90	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	30	30
思考・推論・創造への適用力	0	0	0	0	30	30
汎用的技能	0	0	0	0	0	0

態度・指向性（人間力）	0	0	0	10	0	10
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	30	30